

大きい足袋

宮本百合子

青空文庫

私とじいやとは買物に家を出た。寒い風が電線をびゅうびゅうと云わせて居る。厚い肩掛に頸をうずめてむく鳥のような形をしてかわいた道をまっすぐにどこまでも歩いて行く。「九字分消去」ずつ買った。又もと来た道を又もどると一軒の足袋屋の前に来るとじいやは思い出したように「そうそうおれの足袋が無かったわい」と云つてのれんをくぐると眼のくちやくちやした六十許のお婆さんは丸くなつてボートレースの稽古をしながら店ばんをして居たが重い大きい足音におどろかされてヒョット首をもちあげてトロンとした眼をこすりながら「何をあげますか」とねむたい声できく。「十二文こうだかを一足くれて下さい」これも又ねむつ

たそうな声である。「エ、十二文ノコウダカですか、十文のコウダカならありますがねー十二文ノコウ高はお気の毒ですね」始めて目のさめたようにはつきりした声で云った。きつとあんまり大きいので驚いたんだろう。じいやはやっぱりねむそうな声で「そうかつ」と云つて又よたこら歩き出した。私はお可笑をこらえて「じいや田舎にはそんなに大きい足袋をはく人があるの」ときくと「いんえ、そうじやありませんが足人なみはずれて大きいんで田舎でもあつらえでなくつちやあないから四十五銭はきつととられますわい」と云つて肩をゆすつて笑う。「田舎でもねー」と流石大足の私も十二文ノコウ高には少々驚かされる。二三町行くと又足袋屋があつたらこんどのは今の家よりは構も店さきが大き

く、三四人の番当や丁稚が火鉢をかかえて円くすわって一番年か
さらしい一人が新聞のつづき物を節をつけて読んできかせて居た
が「今晚」と云うどら声がいきなりひびいたので読のをやめて一
度にふりかえったがじいやがあんまり変な形をして居るので眼を
見合してニヤニヤして居る。じいやは一向そんな事にはとんじや
なく「十二文ノコウ高はありませんかねー」と又ここでもくり
かえした。「何をあげましょう」と云って出て来た十四許になる
小僧は大きく目を見はって「エ、十二文ノ——コウ高ですって、
十文のこう高のまちがいじやありませんか」と云って火鉢の方
をふりかえってうす笑いをする。じいやはニヤリともしないで
「なんぼもうろくしたつても自分の足の大ききまで忘れやしまい

し」と云つてじれつたそうにどぶ板をカタカタとふみならして居る。私は軒先に立つて面白い問答をききながら向いの雜貨店の店さきで小さい子供の母親の膝にもたれて何か云つてあまつたれて居るのを自分もあまつたれて居るような氣になつて望めて居る。帳場に坐つて新聞をよんで居たはげ頭の主が格子の中から十二文ノコウ高はお合にくでございますよ。東京中おたずねになつてもおあつらえでなくてはございせんよ」と云つた。小僧はだまつて又もとに火鉢のそばにかへつた。じいやはだまつて店を出て「やつぱりあつらえか」と云つて歩き出した。私もだまつて歩いた。家に帰るまでにまだ三四軒たびやがあつたが、「おあつらえにならなくてはそんな大きい足袋は東京中にありませんよ」と云

われたのがきいたと見えて「十二文のこう高は」はくりかえさなかつた。じいやは「東京にもおれの足袋はないと見えるわい」と云つて家にかへつた。

それから一週間許つた風の強い日にめて十錢也とかき出しのついた大きい足袋が二足じいやの所にとどけて来た。爪の先がもう少々白くなつて居るが今はいて居るのがその足袋である。

十二文のコウ高の足袋もじいやの足が入るとはちきれそうにいいばいである。

青空文庫情報

底本：「宮本百合子全集 第三十巻」新日本出版社

1986（昭和61）年3月20日初版発行

※底本解題の著者、大森寿恵子が、1912（明治45＝大正元）年もしくは1913（大正2）年の執筆と推定する習作です。

入力：柴田卓治

校正：土屋隆

2008年2月28日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www>

w.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

大きい足袋

宮本百合子

2020年 7月12日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>